

## 感染症の予防のための情報提供について

## 【腸管出血性大腸菌】

	事例(1)	事例(2)
○血清型	O145	O157
年齢・性別	72才・女性	15才・男性
職業	無職	高校生
住所	桑名市	名張市
発病年月日	令和 元年8月30日	令和 元年8月31日
診断年月日	令和 元年9月 7日	令和 元年9月 9日
経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月30日 腹痛・下痢・食欲低下がみられた。</li> <li>・8月31日 症状が継続し、嘔吐がみられ桑名市内クリニックを受診した。</li> <li>・9月4日 徐々に症状の軽快がみられた。</li> <li>・9月7日 8月31日の検便から腸管出血性大腸菌と診断された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月31日 腹痛・食欲低下がみられた。</li> <li>・9月2日 さらに血便、微熱がみられた。</li> <li>・9月3日 症状が継続したため、名張市内の病院を受診し入院となった。</li> <li>・9月9日 9月4日の検便から腸管出血性大腸菌と診断された。</li> </ul>
現患者症状	症状なし	入院中ですが、症状はなし
接触者の健康調査及び検便の実施	桑名保健所	伊賀保健所

## 【県内での腸管出血性大腸菌の発生状況】(四日市市を含む)

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
患者	27	29	29	32	18
保菌者	10	15	13	19	15
計(感染者)	37	44	42	51	33

※2019年1月1日～2019年9月10日現在まで本件含む

2019年内訳 患者：O157(14人) O26(2人) O111(1人) O145(1人)  
保菌者：O157(2人) O26(5人) O103(1人) O115(1人)  
O8(4人) 型不明(2人)

## 【自分でできる対策】

## 1 予防の3原則

## ① 加熱(菌を殺す)

この菌は熱に弱く、75℃、1分の加熱で死滅します。

肉の生食は避けて下さい。特に子どもや高齢者は注意して下さい。

ひき肉は、十分に加熱をしましょう。

焼き肉を食べる時は、生肉を取る箸と食べる箸を使い分け、よく焼きましょう。

井戸水は、煮沸してから飲んで下さい。

## ② 迅速・冷却(菌を増やさない)

調理した食品はすぐに食べましょう。

冷蔵や冷凍の必要な食品は、持ち帰ったらすぐに冷蔵庫(10℃以下)や冷凍庫(-15℃以下)に入れましょう。

## ③ 清潔(菌をつけない)

手指や調理器具は十分に洗いましょう。

## 2 暴飲暴食を避け、睡眠を十分にとるなど体力・体調を保って下さい。

## 3 腹痛・下痢等の症状がでた場合、すぐに医師の診察を受けて下さい。